

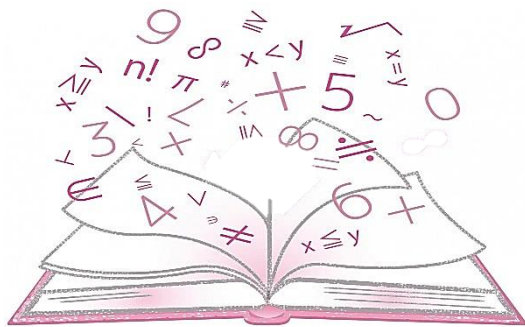
第2学年通信(第3号)

令和元年7月17日発行
福岡県立久留米高等学校
校長：木本 和宏
第2学年主任：中尾 朋浩

『価値』

2年3組担任：陣内 貴文

これからの日本を背負う皆さんは、将来何らかの形で「価値」あるものを生み出していかねばなりません。この世の多くの「価値」は「まだ見たことのないもの」の創出と関係しています。「この世にまだ存在していなかったもの」が新たに形を与えられ、目の前に現出するとき、人は感動を覚え、また人々に使われて役立ちもする。そこには新たな概念と表現の創造があり、記述の地平線の拡張があります。久留米高校の皆さんは、高等な数学への崇拝があり、高度な記述により今後多くの価値を生み出すとは思いますが、いくら高度でも、既に誰かが生み出したものをそのまま踏襲して用いるのであれば、それは所詮借り物に過ぎません。むしろ単純な数式が、まだ見ぬ世界の本質を捉え、私達を遠くへ導いてくれることもあります。



無から価値を創出するにあたって多くの場合最大の困難となるのが、選ぶべき選択肢の無限とも言える膨大さです。人生の限られた時間の中で、人は考えられる全ての可能性を試すわけにはいきません。過去の偉大な先人たちは、これを文字通り人生を賭けた粘り強い trial and error (試行錯誤) で乗り越えてきました。(これからは人工知能がそれを肩代わりする時代に移行していくのでしょうか。)そこで必要なものは、「情熱、エネルギー、愛情」です。普段何気なく眼にしている数式・方程式がこの世界の一体何を表現・記述しようとしているのかも一度よく味わうように眺め、考えて欲しいと思います。そこに、この世の不可思議な奥深さと、それを生み出した先人の懊悩を感じ取ることができたなら、新たな価値創出の未来への扉が開いているのかもしれない。



『初志貫徹』

2年2組副担任：佐藤 洋平

先日、私はプロ野球選手のイチロー選手の引退会見を見る機会がありました。

そこでイチロー選手が

「人より頑張ることなんてとてもできないんですよね。あくまで測りは自分の中にある。それで自分なりにその測りを使いながら、自分の限界を見ながらちょっと超えていくということを繰り返していく。そうすると、いつの間にかこんな自分になっているんだという状態になって。」



と語っていました。私はこの言葉を聞いて、人と競い合うことで伸びる部分もあるが、あくまでも昨日の自分と競い合いながら自分が目指しているところまで進む心の強さも大切だと感じました。みなさんは今本気になっていることはありますか？今はそれを大事にしてください。あきらめずに最後までやり抜いてください。

【 セ サ ミ 】

6月25日(火)マナー講座が行われました。講師は西鉄国際ビジネスカレッジ松原栄治先生です。松原先生より、NEWセサミプラン課題研究における実地調査の際の、守るべきマナーを教えてくださいました。日頃しっかりと学ぶことのないマナーについて知る、大変貴重な機会になりました。



この講座を通して、挨拶の仕方や身だしなみを整えること、メモを取るなど基本的なことの大切さを改めて学ぶことができました。訪問先の方への感謝の気持ちを忘れず、これからの活動に生かしていきたいです。(2-6 浦瀬 春菜さん)

←名刺交換の練習中



【 第2学年 夏季休業中の特別活動 】

- ・セサミの実地調査…セサミの課題研究の一環で企業や大学を訪問します。
- ・オープンキャンパス…大学に実際に足を運び、将来のイメージを具体的にします。
- ・久高祭学年企画…今年はその観光地の有名な飾りを参考に3年生への感謝と応援の気持ちを製作します。クラスごとに工夫を凝らし、久高祭に彩を添えます。お楽しみに！

【 第2学年 夏季休業中の特別活動 】(続き)

・カナダ修学旅行ガイドブック作成…各クラスでテーマ別に作成します。

テーマはそれぞれ以下の通りです。

1組：カナダの文化

2組：カナダの地理・自然

3組：バンクーバー

4組：カナダの習慣

5組：カナダの社会

6組：カナダの生活



【 行事予定 】

7 月	19日(金)	終業式
	22日(月)~8月2日(金)	集中講座
	23日(火)	校内英語弁論暗唱大会(英語科)
8 月	1日(木)、2日(金)	1、2年学習会
	21日(水)~23日(金)	集中講座
	26日(月)	始業式、スタディサポート
	31日(土)	修学旅行保護者説明会

